

大塚にんじん（市川三郷町大塚地区）

1 地域の概要・栽培の歴史

市川三郷町大塚地区では、土壌が深くきめ細やかで、石が無い肥沃な土地のことを「のっぴい」と言い、昔から品質の良いにんじんやごぼうなどの根菜類がよく穫れた地域である。

このにんじんは、以前から栽培されていたが、昭和30年代に野菜から果樹に転換する農家が増えたため、その頃を境に作付面積が減少してきた。

しかしながら近年、地域の特産野菜の見直しを行う中で、徐々に栽培面積が増加している。



2 セールスポイント

栄養分豊富な「のっぴい」に育てられた大塚にんじんは、濃い鮮紅色で独特の風味と甘さがある太くて長いにんじんであり、収穫時には、80cm～120cmにもなる。また、通常のにんじんと比べると、カロチンは1.5倍、ビタミンB2は3倍、ビタミンCは2.3倍と栄養豊富である。

3 出荷時期

11月～12月

4 問い合わせ先

問い合わせ先：市川三郷町産業振興課【Tel：055-240-4157】